



# あの名車が3ℓで甦る ロッキーオート R3000GTデビュー

●トヨタ2000 GTがずらりならんだ愛知県岡崎市のロッキーオート リバーサイド第3スタジオ。手前は今春、ロッキーオートが発表したハイブリッド2000 GTことRHV、そして赤絨毯上が今回、公開されたR3000 GT(赤と白の後期型はオーナー車の2000 GT)。

●エンジンルームを覗き込む元2000 GT開発メンバーの高木氏と渡辺代表の説明を受ける松田氏。「直6で3000ccですか。音もフィーリングもいいですね」とおふたりとも満足げ。現代の電子制御エンジンの信頼性、耐久性はいわずもがな。真夏でもエアコンが普通に効くのだ。なお、オプションでターボ、スポーツインジェクション、直6・2ℓ仕様なども用意される。

さる8月14日、愛知県岡崎市のロッキーオート リバーサイド第3スタジオでロッキーオートR3000 GTのメディア発表会が行われた。テレビ、雑誌といったメディア取材陣のほかトヨタ2000 GTの元・開発関係者、同車オーナーなどが詰めかけ、新たな名車の誕生に注目した。



●スタジオ内にはトヨタ2000 GTの開発ストーリーをまとめたパネルと、原寸大木型が展示された。



●自社開発のFRPボディはRHVとほぼ共通で、前期型トヨタ2000 GTを見事に再現。仕上がりが素晴らしく、その存在感は2000 GTオーナーも満足させるに違いない。パワーアシスト付きラック&ピニオンステアリング、ダブルウィッシュボーンサスペンション、四輪ディスクブレーキ、オートエアコンを装備する。



細谷四方洋  
が駆る



●そして2000 GT誕生から50年目、まずR3000 GTのステアリングを握るのも細谷氏。短距離だがそのパワフルさを感じ入っていた様子。



●ギャラリーから質問攻めに合う細谷氏(中央)。この日はヤマハから試作1号の2000 GTを受け取り走ったときのことを話されていた。



●室内も往年の2000 GTを再現。ミッションは電子制御4速オートマチック。



## 迫力のサウンドとともに登場

ロッキーオートは、ここ数年のうちにさまざまな野心的な車両を製作し、旧車業界のみならず広くクルマファンの注目を集めてきた。そしてこの日、我々の前に現れた同社の新作が直6・3ℓエンジンを積んだR3000GTである。

これまでもハコスカ、S30ZにRBエンジンを搭載したコンプリートカーで世に知られ、のちに開発した、現代のケンメリGT-R<sup>g</sup>ではボディを自社製作してコンプリートカスタムの領域を超えたロッキーオート。「真夏の渋滞路でも快適にドライブでき、しかも現行スポーツ

カーに劣らぬ性能の旧車」というのがクルマ作りの基本コンセプトだ。

そして今春発表した「トヨタ2 RHV」はさらに衝撃的なクルマだった。同じく自社製のFRPボディはトヨタ2000 GTそのものでありつつも、リッター40km以上も走るハイブリッド車なのだ。旧車でありながら快適かつエコとくれば、もう足りないものはないだろう。

しかし、進化はここで止まらなかった。「もしトヨタ2000GTのエンジン排気量ももっと大きかったら」。この思いはトヨタ2000GTが誕生したときからオーナーや関係者が思っていたことではないだろうか。排気量に余裕があれば高速クルージングもラクだし、エアコンやパワステを付けてもパワーはスポイルされない。

その思いは2000GT誕生から50年目にして実現したと言えるかもしれない。この日、発表会場には報道陣のほか、現役2000GTオーナー、そしてトヨタ2000GTの開発メンバーであった細谷四方洋氏、高木英匡氏、松田栄三氏の3氏も来賓として招かれた。ボディ製作に使われた原寸大の木型が展示されたスタジオの前に現れたR3000GTは、2000GTとはまた異なる低く野太いエキゾーストノートを静かに響かせ、ギャラリーの胸を高鳴らせた。

まだナンバーが付いていないため試乗はスタジオ敷地内に限られたが、真っ先にステアリングを握った元チームトヨタキャプテン・細谷四方氏は「パワーがあつて乗りやすいし、とても楽しい」とお気に入りの様子。また2000GTオーナーも「ハイブリッドもいいが、やはり直6のFRは魅力」と語っていた。

渡辺代表は「エキゾースト音をはじめ、まだいろいろ煮詰めてさらにいいものにしていきます」と言う。先行オーダー分はすでに完売。第2期予約は10月からというから、いずれ街中でR3000GTを見ることのできるかもしれない。(甲)

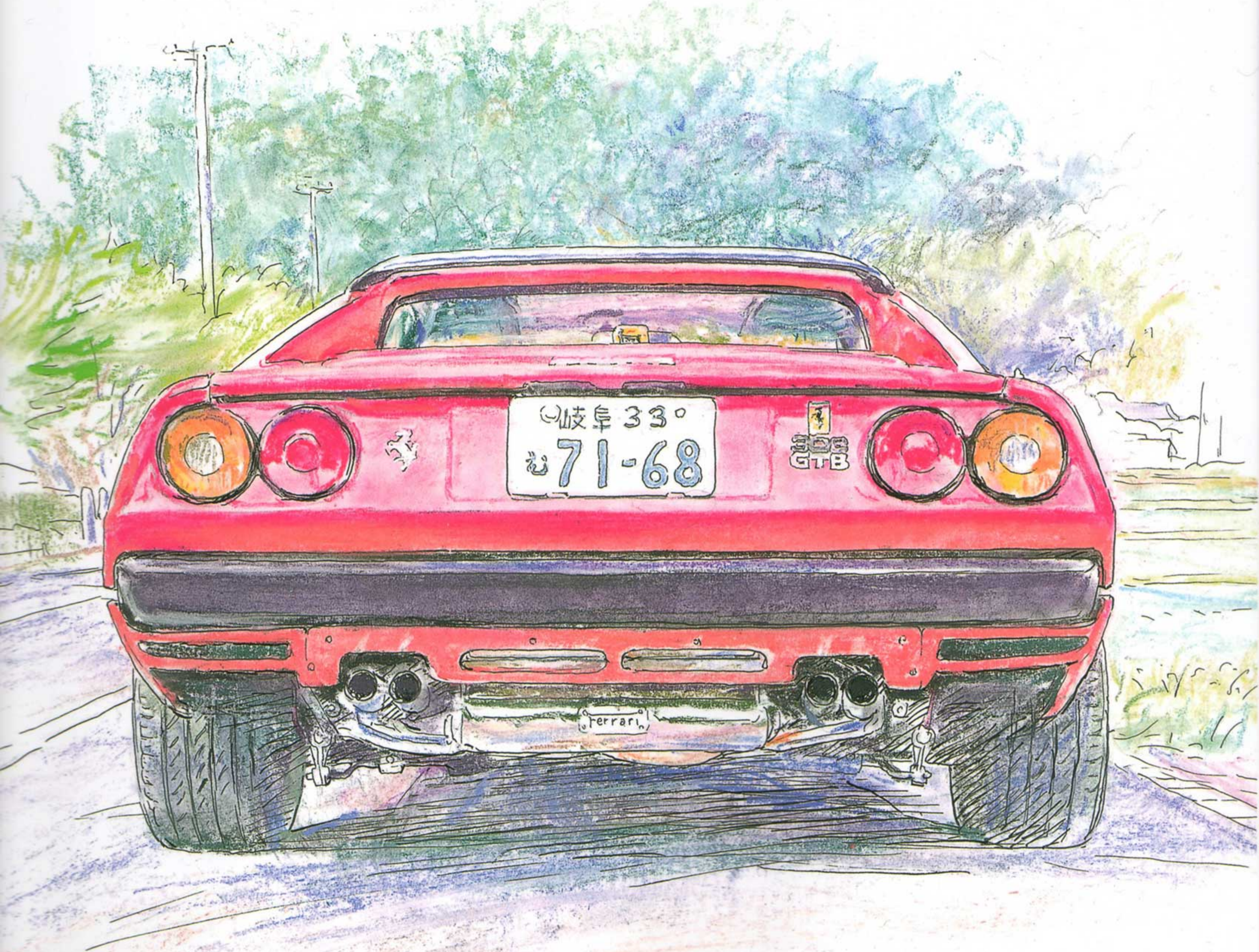
# Old-timer

オールタイム

No. **144**  
OCTOBER 2015  
隔月刊 **10月号**  
次号は10月26日(月)発売

The power source that keeps your classic vehicles running.

自作部品多数! 試行錯誤のフェラーリ308GTB調教記  
「一生乗ります」ポーター宣言/これまでも、これからもクジラ  
遅しき未再生「日野ルノー」/スバル360を漆仕上げにする  
アルミ鋳物の可能性を探る/難物クーラー取り付けノウハウ



2015

*Gpi*